

青森県生協連 2018年度ユニセフのつどい開催報告

1. 日 時 2018年9月21日(木) 10:45～14:40
2. 場 所 コープあおもり集会室
3. 参 加 42人

青森県民生協	10	青森保健生協	6	講師(ユニセフ)	1
コープあおもり	22			県生協連	3

4. スケジュール

10:45～10:50	開会 青森県生協連会長 平野 了三
10:50～12:20	九州・東北の生協による東ティモール指定募金 「新生児と母親のためのコミュニティ保健ケアの改善」 (公財)日本ユニセフ協会 団体・企業事業部 石尾 匠氏
12:20～12:40	県内生協の取り組みから 青森県民生協：渋谷 賢司さん コープあおもり：須々田 友子さん
12:40～13:30	昼食休憩 パネル展示・DVD上映 *あつぷる体操
13:30～14:25	ロールプレイ「東ティモールの村民になって考えてみよう」
14:25～14:30	閉会 県生協連常務理事 鎌田 敦子

5. 概 要

・「2018年度ユニセフのつどい」を開催し、42名の参加がありました。

平野会長より開催の挨拶があり、SDGsの取り組みの一つとしてもこれまで全国の生協がすすめてきたユニセフ活動の意義は大変大きく、今回の学習会を期に更に広げていきたいと思いますと述べました。

・続いて、日本ユニセフ協会の石尾匠氏よりご講演いただきました。

最初に、何故日本ユニセフ協会に勤務することになったのかについて小学生時代からの生き立ちを語っていただき、いつもCO・OPのおやつを食べていたという石尾氏に、会場は引き込まれるようにお話を聴き入りました。



ユニセフの活動や募金の種類と使われ方と推移、生協による緊急募金や指定募金の取り組みと私たち組合員にできることについてお話に続き、九州・東北の生協による東ティモール指定募金による「新生児と母親のためのコミュニティ保健ケアの改善」について、クイズなども交えながらわかりやすくお話いただきました。

*5歳未満児死亡率が1000人中50人(日本3人)妊産婦の死亡率10万人あたり215人(日本5人)栄養不良の子ども50%という東ティモールの中でも特にその率が高いエルメラ県を支援しています。

*プロジェクトのテーマは3つあり、①医師・保健員の育成(スタッフ434人が研修を修了)②小児用医療機器の提供(18の病院・保健センターに提供)③母親支援グループへの研修(753人が研修終了)と、支援が継続する中、安全で清潔な出産に向けた環境の改善や母親支援グループによる様々な形での住民への保健指導の広がり、更には男性の協力参加など変化が作られてきています。



＊東ティモールクイズの答えのコーナーに大移動する参加者
楽しく、支援している国のくらしの様子に触れました



講演の中で実際に現地に届けている小児用医療キットも手に取ってみることができました。

・続いて県内生協の取り組みが紹介されました。青森県民生協澁谷賢司さんからは、昨年度からカレンダー募金を実施していることやユニセフも含めたレジ募金(希望する募金のカードをかごに入れて代金と一緒に精算するしくみ)の紹介がされました。コープあおもりの須々田友子さんからは、小中学校へのグッズの貸し出しや各地域での平和とユニセフのつどい、ハンドインハンドの取り組み、カレンダー募金や各種行事での取り組みの内容と様子について紹介されました。お昼には子どもたちの水汲みの様子DVDの上映がされました。



・午後は、ロールプレイ「東ティモールの村民になってみよう」をグループごとに行いました。

各メンバーが、村長、母親①②③保健省の役人になり、用意されたセリフで演技きった後に、村の問題と解決策を真剣に話し合いました。

・グループ発表では、問題と解決策について、様々なアイデアが出されました。長年の慣習や考え方を変えていくためには、地道な啓発活動が必要であり、そこを担うリーダーの養成が大事、地域経済そのものを活性化し自立できる方向性も作るべきなど貴重な視点が出されました。



・最後に、参加者からの感想を出していただき、鎌田常務よりまとめの挨拶がありました。

【参加者の感想より】

●石尾さんのお話を聞いて

- ・世界には、日本で当たり前なのが当たり前ではない現状（予防接種・学校教育等）があるという事を改めて認識させられました。
- ・東ティモールの状態がますます良くなっていることがわかり、何かととても良い気持ちです。
- ・1日8時間を水汲みに費やして（いる子どもがいると聴き）自分の1日は何をしているのだろうと感じました。今協力できる事を少しでもしていきたいと思いました。
- ・戦後、子どもたちの為にユニセフが誕生し、今もその支援が続いている事が素晴らしいと思いました。エチオピアのアイシャさんが1日かけて水を汲んでいる姿を見て、今の私たちの暮らしからは考えられない事が世界のどこかではあるという事実。学習するとしないとでは全然違います。参加して良かったです。
- ・東ティモールで実際に使っている医療器具が見ることができて良かったと思います。
- ・東ティモールはユニセフ募金で初めて知りました。母親教育が必要だと思いました。1年後は元気な子どもが増えていますように。
- ・東ティモールの現状をパワーポイントを見ながら学習できた。又、募金の使い道を詳しく知ることができた。人を育てるのが大事だと思いました。
- ・子どもが犠牲になることが増加していると思う。まず食を、子どもが子どもらしく希望がもてる環境づくりが早急に必要。安心してくらせる世界に早くなってほしい。学校でのボランティア活動を継続できる手段を知らない場合が多いのでは。
- ・東ティモールの現状を聴き、少しでもできることはないかと考えさせられました。また、世界は東ティモールのような国がたくさんあるはず、日本国として世界としてリードする国は考えるべきだ。
- ・ユニセフ活動が始まり年数が経っていてもまだまだ支援が届いていないことを知らされたように思います。まだまだ募金活動が必要だと思いました。
- ・とてもわかりやすく聞き入ってしまいました。東ティモールは青森県より少しだけ大きい国ですので、東ティモール全土に支援できているのだと思っていましたが、これから益々広がっていけるように期待します。始めに見せていただいたDVD、「わいわいコープのつどい」で活用させていただければ参加者によくわかっていただけるのではと思いました。
- ・子どもの時に思った事の実現、素晴らしいと思います。志のある人はやっぱりちがうな。

- ・東ティモールでの活動には頭が下がります。子どもたちの命を守る活動は多岐に渡るもので、続けて支援が必要だと感じました。家族計画等についても学習したりしているのでしょうか、いっぱい生まれて、死亡する子供も多いのは悲しい事です。
- ・とても良いお話を聞いて良かったです。聞いたお話を伝えたいと思います。できる事少しでも実行していきたいと思いました。ウィークで毎週募金するようにします。
- ・東ティモールの現状を聞き、まだまだ支援が必要であると思いました。指定募金により募金先の実際の変化がわかることは募金の励みになると思います。
- ・いつも思うのですがとりあえず何の心配もなく、あふれる食べ物があり・・・なんとこのほほんと生活しているのかと思いました。
- ・世界の中には色々な国があり貧困や知識不足のため乳児の死亡率が高い国がある、衛生面の強化をしないといけないと思います。
- ・東ティモールは不十分ではあっても徐々に改善している様子がわかった。住民はそれぞれに役割を持ち、誇りをもって活動していることがうれしい。
- ・ユニセフというと、どこにどれだけというのがわからないので、指定募金で募金がどの国で活かされているのかわかるのはとてもよいですね。世界の子供が少しでも栄養をとることができて教育が受けられるように募金活動を頑張りたいと思いました。
- ・東ティモールの現状と改善プロジェクトの内容がよりくわしく理解できた。次のつどいチラシの説明に自信をもって伝えられると思った。
- ・支援の実状と進行状況が具体的に解った。ささやかな募金が役に立っていることが実感できた。
- ・日本の子どもたちもユニセフの支援に依って成長してきたこともよくわかった。今後とも生協連で募金に協力してユニセフの活動に理解をする大切さ
- ・昭和 20～30 年代の岩手に住んでいた頃を思い出しました。
- ・夢を叶えて良かったですね。これからもよろしくお願いします。でも、ここで足を留めないで更なる前進を・・・。

●県内生協の活動報告を聞いて

- ・コープあおもりさんの取り組みをモデルケースにさせていただいて色々な取り組みを計画いたします。
- ・それぞれの生協活動が功をそうしていることが嬉しいです。益々努力したいと思います。
- ・レジ募金いいですね
- ・生協で取り組んでいる小さな活動が子どもたちお母さんたちの支援につながっていることを多くの組合員にもっとお伝えしていく事も大事だと思いました。
- ・100 円でできる展示と一緒に「100 円でできるゲーム」でお金の大切さもわかって、少しのお金で多くの子どもたちの命が助かると感じました。
- ・県民生協はレジ募金、コープあおもりはハンドインハンド、カレンダー募金とユニセフ活動に参加していることがわかりました。
- ・学校での活動内容、手段を知りたい。
- ・年間の取り組みをあらためて考え、年中募金ができるような意識が大事だと思った。全員が同じ意識する事も大事だ。

- ・県民生協のレジ募金いいアイデアだと思う。
- ・募金活動が色々な形でされていると思いました。
- ・県民生協さんのレジ募金はとても素晴らしいアイデアだと感心して見ていました。OCR募金ができるまでに、大変な苦労をしながらやっていたことがなつかしく感じました。
- ・県民生協のレジに掛かっている募金の札がだいぶ増えたなどみていますがまだ札を撰った人を見たことがありません。でも月3万円くらいということだったので、これからでしょうか。
- ・店舗での募金も結構な金額で、広くお知らせして募金を呼びかけたいですね。
- ・お店に募金箱を置いて募金をお願いする。(募金箱のそばに写真など貼ってお願いする)
- ・活発な活動を参考にしていきたいです。
- ・なるべく参加していきたいと思いました。
- ・小中学生にユニセフを知ってもらう事が大切だし、良い事だと思う。
- ・県民生協はお店での活動しかできないと話されていましたが、それなりに工夫をこらして募金活動をされていることを知ることができました。
- ・県民生協の報告、今後の計画が聞けたこと、コープあおもり弘前地域の小中学校でのパネル展、自分の地域でもぜひチャレンジしたい
- ・小さい子ども時代から募金活動を手伝っていく中で将来を考えられるようになっていく力になると思った。
- ・県民生協でレジ募金をやっているということはとても良い事です。ユニセフのことを知らない買い物客もユニセフについて理解を深めると思います。
- ・今まであまり関心のない自分につながり。

●「いのちの水」について（冊子やDVDを見て）

- ・水はとてもたいせつで、いくら栄養のある食べ物でも水で下痢をしてしまう。本当に「いのちの水」なんだなあと思いました。
- ・エチオピアの少女の水汲みの映像がショックでした。水汲みに時間がかかると聞いていたが、1日8時間とはビックリでした。
- ・水が命には一番大切、世界中にきれいな水を飲んでもらうために活動が大事。
- ・水は人にとって大切なもの、水がないと生きていけないので汚い水をきれいにしても飲ませてあげたいです。(東ティモールの子どもたちへ)
- ・1日8時間にも及ぶ時間を子どもが何も学習(勉強・遊び・あまえるなど)なく過ごしている、又それが(水汲みの時間)地球上で見れば2億時間にもなると知ってなくしてあげたいと思った。
- ・生きていく上で水というものがいかに大切か、この本によって再認識しました。
- ・日本はひねると水が出ることに感謝します。

●ロールプレイ「東ティモールの村民になってみよう」について

- ・学習会の仕方がわかりました。
- ・グループワーク良かったです。それぞれの役になることで考え色々感じる事ができました。問題点も見えました。ユニセフ活動がますます発展していきますよう協力していきたいです。

- ・個人の立場になって意見を言い合うというロールプレイもとても新鮮な体験でした。
- ・コミュニティの力、どんなことにも必要だと思った。世界にいろいろな困難を抱えている人が多くいることをもっと広く知らしめることが大事だと思う。
- ・ロールプレイで全員で話し合えることができて、実感がわきました。
- ・最終的には東ティモールの方々がコミュニティの場所をつくり、自立していかななくてはいけないと思うので、そのための衛生・栄養支援が必要。ユニセフの栄養支援は続けていて欲しい一つです。
- ・ゲーム感覚で楽しく学べて今後の学習会に使いたい。
- ・村人になってみよう：日本に住んでいる私たちはどうしたらよいかを考えることはできませんが、5人の村人になったつもりで考えると課題が大きすぎるということがわかりました。ユニセフがあるという事をまずは知ってもらおう事で、助かる命があると実感しました。
- ・女性だけでなく男性の教育も必要だと感じました。
- ・自分たちで問題の解決策を考える事で、もっと身近に東ティモールを感じる事ができました。
- ・学習やコミュニティの大切さを更に学びました。
- ・知識（医療・衛生面・栄養面）を共有し人材の育成をする
- ・同じテーマでもグループによって目のつけどころが微妙に違っていたのが面白かった。
- ・知識・教育・貧困・人権・平和 全てつながっている。先進国が搾取しないこと、東ティモールの人から学ぶこと。
- ・ロールプレイを通じて意見交換で来て良かった。
- ・とても大切に東ティモールの人々が普通の生活をし、発展できる基盤なので、自分たちの力で立ち上がって向上して欲しい

●今後聞いてみたい話、来年やって欲しい企画

- ・1年後、水を汲みに行っていた子が、ユニセフの支援でどうなったか知りたいです。
- ・東ティモールの写真展
- ・ユニセフの取り組みは東ティモールだけではないと思います。世界の厳しい状況を知るべきだと思う。
- ・今後も引き続き地域に帰って約閉てるような情報提供をしていただきたいと思います。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・楽しいグループワークでした。自分たちの事だったらどうする？と考えて声出ししました。来年もお願いします。
- ・東ティモールの男性の役割は何なのかと思いました。
- ・もっと沢山の人に呼びかけて活動を広げる人を増やそう。
- ・支援活動の現状と課題
- ・ユニセフ支援によって東ティモールが文化的な生活をする事が出来ているという良いお話をたくさん聞きたい
- ・インフラのことを聞きたいです。